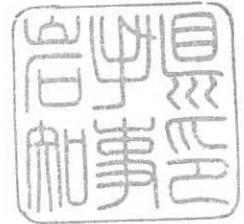


厚生労働大臣 田村 憲久 殿

岩手県知事 達増 拓也



地域医療再生基金管理運営要領に基づく平成25年度事業実施状況報告について

1 基金保管実績

基金の保有区分	年度当初保管額 (A)	年度内異動額 (B)	年度末保管額 (A-B)
繰替運用	33,893,751,503円	2,908,279,008円	30,985,472,495円
合計額	33,893,751,503円	2,908,279,008円	30,985,472,495円

2 基金運用実績

基金の保有区分	利息額	差益額
繰替運用	19,359,538円	円
合計額	19,359,538円	円

※基金の保有形態別に、収入の種類により記載する他、内訳を添付すること。

3 基金事業実施状況(岩手県地域医療再生計画)

(1)平成21年度交付要綱第4の別表の地域(盛岡医療圏)【25億円】

(ア)事業実績報告

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度 事業予定額 (計画時)	平成25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
①当該地域における事業			69,728,000	69,728,000	69,728,000	69,728,000	0
VI2(3) 「臨床技術トレーニングセンター」(仮称)の整備	学校法人岩手医科大学	・周産期医療従事者への専門技術の習得を促進するため、岩手医科大学及び同附属病院と連携した「周産期臨床技術トレーニングセンター」(仮称)を整備	69,728,000	69,728,000	69,728,000	69,728,000	0
②都道府県単位の事業			955,963,000	784,837,198	784,837,198	676,062,627	0
VI1(3)イ 周産期電子カルテの導入	県・県医療局・医療機関	・周産期医療を担う中核病院において導入した総合電子カルテと連動した周産期電子カルテの運営を推進	126,882,000	100,606,145	100,606,145	100,606,145	0
VI1(3)イ 周産期電子カルテの導入	県・県医療局・医療機関	・周産期医療を担う中核病院において導入した総合電子カルテと連動した周産期電子カルテの運営を推進 【H24→H25繰越分】	-	102,589,000	102,589,000	102,589,000	0
VI1(3)ウ 周産期超音波画像伝送システムの導入	県・県医療局・医療機関	・分娩取扱医療機関等における超音波画像伝送システムの運営を推進 ・超音波画像による診療ネットワーク体制の検討・構築	376,499,000	108,581,385	108,581,385	108,581,385	0
VI1(3)ウ 周産期超音波画像伝送システムの導入	県・県医療局・医療機関	・分娩取扱医療機関等における超音波画像伝送システムの運営を推進 ・超音波画像による診療ネットワーク体制の検討・構築 【H24→H25繰越分】	-	43,671,000	43,671,000	43,671,000	0
VI1(3)エ 周産期医療情報ネットワークシステム「イーはとーぶ」の加入拡大	県、市町村	・「イーはとーぶ」加入市町村の拡大(26/33→31/33) ・市町村独自の保健システム及び周産期医療情報ネットワークシステム「イーはとーぶ」間のデータ移行のため、必要となる保健システムの改修に要する経費の補助を実施	22,000,000	4,031,000	4,031,000	4,031,000	0
VI1(3)オ 周産期医療情報連携に係る医療従事者の人材育成	県	・助産師等の医療従事者のスキルアップを図るため、各種研修等(周産期医療情報ネットワークシステム操作研修、超音波画像診断装置操作実習、周産期医療フォーラムの開催等)を実施	10,401,000	9,556,000	9,556,000	9,556,000	0
VI1(4)ア ドクターヘリの運航体制の確立	県・学校法人岩手医科大学	・ドクターヘリの運航実施、県立大船渡及び久慈病院ヘリポート整備	420,181,000	213,298,668	213,298,668	104,524,097	0
VI1(4)ア ドクターヘリの運航体制の確立	県・学校法人岩手医科大学	・ドクターヘリの運航実施、県立大船渡及び久慈病院ヘリポート整備 【H24→H25繰越分】	-	202,504,000	202,504,000	202,504,000	0
合計			1,025,691,000	854,565,198	854,565,198	745,790,627	0

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

○周産期臨床技術トレーニングセンター(仮称)の整備に関して、周産期臨床技術修練設備の整備や産科救急・蘇生及び新生児蘇生の運営プログラムの策定を行い、周産期医療に従事する医師、助産師、看護師が専門実地講習を行う環境を整備した。また、周産期電子カルテや周産期超音波画像転送システムの運用支援を行い、周産期医療体制の診断精度の向上と医師の負担軽減を図ったほか、周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」の加入市町村を31市町村まで拡大し、妊産婦及び新生児の搬送時における受け入れ体制を確保した。
 ○救急関連施設の整備については、県立大船渡病院及び久慈病院にヘリポートを整備し、ドクターヘリの運航基盤を整備したほか、平成25年度は352回ドクターヘリを運航し、救急患者に対する迅速な治療や救命率の向上を図った。

(2)平成21年度交付要綱第4の別表の地域(釜石医療圏)【25億円】

(ア)事業実績報告

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度 事業予算額 (計画時)	平成25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
①当該地域における事業			41,092,000	28,308,000	28,308,000	28,308,000	0
6[2]ア 県立釜石病院における放射線治療機能の整備	県医療局	・県立釜石病院の地域がん連携診療拠点病院の指定に向けた国との連絡調整を実施	170,000	0	0	0	0
6[2]オ かまいし医療情報ネットワーク(仮称)の導入	県・県医療局	・平成24年度に圏内病院・(医科)診療所に整備した「かまいし・おおつち医療情報ネットワーク」の運用を開始	32,922,000	28,308,000	28,308,000	28,308,000	0
6[2]カ 地域住民活動拠点の整備(県立釜石病院)	県・県医療局	(6[2]アの「県立釜石病院における放射線治療機能の整備」において地域住民活動拠点を整備したため、事業を中止)	8,000,000	0	0	0	0
②都道府県単位の事業			982,275,000	363,235,745	350,097,000	237,856,000	13,138,745
6[1]ア 県・市町村が行う中核病院に対する診療応援事業を支援	県医療局・市町村	・市町村が実施する、地元開業医による中核病院への診療応援を行う体制整備に係る取組に対する補助を実施(1市) ・中核病院への地元開業医の診療協力に要する経費に対する補助を実施(4病院)	9,600,000	5,021,885	918,000	918,000	4,103,885
6[1]イ 地域病院担い手医師を育成	県	(国の専門医制度の見直しの中で新たに専門医としての総合診療医を位置づけることとなり、本県で作成したプログラムについて見直しが想定されることから事業を中止)	2,367,000	0	0	0	0
6[1]ウ 医学部生に対する奨学金を拡充	県・県医療局	・医学部生13名に対する奨学金新規貸付を実施	753,258,000	136,800,000	136,800,000	136,800,000	0
6[1]エ 医療機関における認定看護師の養成を支援	県	・看護職員17名の認定看護師教育課程受講に対する支援を実施	22,550,000	33,996,860	24,962,000	24,962,000	9,034,860
6[1]オ 看護職員修学資金貸付の拡充	県	・看護学生36名に対する修学資金の新規貸付を実施	194,500,000	187,417,000	187,417,000	75,176,000	0
合計			1,023,367,000	391,543,745	378,405,000	266,164,000	13,138,745

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

○釜石保健医療圏内の医療機関・介護機関等の中で診療・検査情報の共有を行う「かまいし・おおつち医療情報ネットワーク」を整備し、運用を開始した。当該ネットワークには、圏域内の約7割の医療機関、介護機関が加入しており、加入機関の更なる拡大を通じて地域包括ケアシステムの構築に寄与するものである。
 ○岩手医科大学の地域枠の拡大に併せた医学生に対する奨学金制度の拡充や、看護学生を対象とした修学資金貸付の拡充を行い、県内の医師及び看護職員の確保定着に向けた取組みを推進した。

(3) 平成23年度(22年度からの繰越分)交付要綱第4の別表の地域【120億円】

(ア) 事業実績報告

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度 事業予定額 (計画時)	平成25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
当該地域における事業			1,783,038,000	1,533,402,935	1,496,560,176	1,384,791,958	36,842,759
V1(1)ウ① 仮設診療所整備事業	県	仮設診療所の診療継続と本設移転等により不要となった仮設診療所建屋等の撤去	82,733,000	3,201,353	3,201,353	3,201,353	0
V1(1)ウ④ 被災地医療施設運営支援事業	県	陸前高田市に県医師会が設置した仮設診療所に対する運営の支援	45,000,000	45,000,000	45,000,000	45,000,000	0
V1(2)ウ① 被災地医療機関診療機能回復支援事業(施設修繕等)	県・医療機関	被災医療機関1施設に対する運営の支援	205,175,000	11,289,651	5,644,000	5,644,000	5,645,651
V1(2)ウ① 被災地医療機関診療機能回復支援事業(施設修繕等)	県・医療機関	被災医療機関2施設に対する運営の支援 【H24～H25繰越分】	-	39,400,665	27,199,000	27,199,000	12,201,665
V2(2)ウ② 被災地医療機関診療機能回復支援事業(施設新築等)	県・医療機関	被災医療機関1施設に対する運営の支援 【H24～H25繰越分】	-	75,979,443	56,984,000	56,984,000	18,995,443
V1(2)ウ④ 県立大東病院施設復旧事業	県医療局	被災した県立大東病院の施設改修を実施	747,552,000	876,291,000	876,291,000	876,291,000	0
V1(2)ウ⑤ 被災地薬局機能確保事業	県・医療機関	被災薬局の業務再開の支援(支援要請なし)	39,045,000	0	0	0	0
V1(4)ウ① 沿岸被災地看護職員確保事業	県	被災地医療機関の看護職員確保を支援するため、現地調査及び助言、ハローワークと連携したマッチングを実施	2,436,000	2,379,300	2,379,300	2,379,300	0
V1(4)ウ② 被災地薬剤師確保事業	県	被災地における薬剤師確保のため、薬学生に対する研修会や中高生等に対する薬剤師業務の啓発を実施	5,593,000	5,565,000	5,565,000	5,565,000	0
V1(4)ウ③ 看護師等養成所整備事業	県	沿岸被災地からの入学生が多い、被災した県立一関高等看護学院寄宿舎について、学生の安全確保、医療従事者の養成・確保を図るため改修整備を実施	283,533,000	320,763,218	320,763,218	208,995,000	0
V1(4)ウ④ 沿岸被災地応急仮設公舎整備事業	県	平成23年度に設置した仮設公舎の設置継続	24,830,000	6,489,000	6,489,000	6,489,000	0
V1(5)ウ② 病院非常用設備発電整備事業	県・県医療局・医療機関	災害拠点病院(県立釜石病院)への自家発電設備等の整備	136,154,000	129,263,000	129,263,000	129,263,000	0
V2(1)ウ② 災害時通信設備整備事業	県医療局	災害時に地域の医療の中核となる県立病院への衛星携帯電話の配備に要する経費を補助 【H24～H25繰越分】	13,370,000	12,409,000	12,409,000	12,409,000	0
V2(3) 県立療育センター整備事業	県	当該施設の移転整備に向けた、重症心身障がい児(者)支援ネットワーク構築に係る検討委員会を設置・運営 ・基本設計・実施設計に着手するとともに、地質調査等を実施	197,617,000	5,372,305	5,372,305	5,372,305	0
合計			1,783,038,000	1,533,402,935	1,496,560,176	1,384,791,958	36,842,759

(イ) 地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

○仮設診療所による診療や、歯科巡回診療車による巡回診療、陸前高田市における医師会立高田診療所の運営支援を継続実施したほか、被災した県立大東病院の施設改修整備が完成し平成26年4月から入院診療を再開するなど、被災地における医療提供体制の確保を図った。

○被災地における医療人材の育成・確保のため、看護職員においては県外学校の訪問による就業相談や被災地医療機関等の訪問による離職防止の相談等を行ったほか、薬剤師においては薬学生と被災地薬剤師の交流会や被災地で従事する薬剤師の認定実務実習指導薬剤師認定研修への派遣の支援等を実施した。

○災害拠点病院である県立釜石病院の自家発電設備を整備し、災害時の医療提供体制の強化を図ったほか、県立20病院の衛星携帯電話を整備し、災害時の迅速かつ確実な情報共有を行つたための通信手段の確保を図った。

(4)平成24年度交付要綱第4の別表の地域【茨城県のみ】

(ア)事業実績報告

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成24年度実施事業内容	平成24年度 事業予定額 (計画時)	平成24年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
当該地域における事業						
1.(1)の7						
1.(1)のイ						
合計						

該当なし

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

(5)平成25年度交付要綱第4の別表の地域【15億円】

(ア)事業実績報告

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度 事業予定額 (計画時)	平成25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
当該地域における事業			-	79,458,269	79,458,269	79,458,269	0
VI1(1) 地域病院担い手医師の育成	県・医療機関	-配置調整WG委員会の開催	-	874,038	874,038	874,038	0
VI1(3) 医療メディエーターの養成 支援	県・医療機関	-医療メディエーター養成研修の 開催(1回)	-	769,667	769,667	769,667	0
VI2 ドクターヘリ運航体制の確 立	県・岩手医科大学・ 県医療局	-ヘリポート適地選定調査の実 施	-	4,998,000	4,998,000	4,998,000	0
VI3 災害医療(SCU)	県	-SCUに対する医療資機材の整 備	-	29,533,196	29,533,196	29,533,196	0
VI4 在宅医療(在宅医療推進 事業)	県・医療機関等	-在宅医療連携体制の構築【内 陸】 -在宅医療設備整備	-	43,283,368	43,283,368	43,283,368	0
合計			-	79,458,269	79,458,269	79,458,269	0

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

○災害時にSCUとなる花巻空港において、医療資機材の整備を実施し、災害時に迅速にSCUを立ち上げ、医療活動が開始できる環境整備を図った。
○陸前高田市、西和賀町、軽米町における在宅医療介護連携に係る検討のための会議や研修等の取組を支援し、地域の実情に合わせた在宅医療介護連携体制の構築に向けた取組みを推進した。

4 基金事業実施状況(岩手県医療の復興計画) 被災3県のみ

(1)平成23年度交付要綱第4の別表の地域[176億円]

(ア)事業実績報告

(単位:円)

医療の復興計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度 事業予定額 (計画時)	平成25年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
当該地域における事業			6,031,543,000	2,189,561,700	1,485,249,496	1,469,262,583	173,275,162
5(1) 公的医療機関等の再建	県・県医療局・市町村	・県立高田病院、県立大槌病院及び県立山田病院の再建整備(実施設計料、用地取得等) ・沿岸被災地(済生会岩泉病院)における被災した公的医療機関の整備、医療機器の整備等を支援	1,667,454,000	643,542,132	112,505,090	112,505,090	0
5(1) 公的医療機関等の再建	県・県医療局・市町村	・沿岸被災地(宮古市、岩泉町)における被災した公的医療機関の整備、医療機器の整備等を支援 【H24→H25繰越分】	-	71,296,000	71,296,000	71,296,000	0
5(1) 民間診療所等の再建	県・医療機関	被災医療機関の再建支援を実施	1,799,732,000	223,209,774	167,920,970	167,913,057	55,288,804
5(1) 民間診療所等の再建	県・医療機関	被災医療機関の再建支援を実施 【H24→H25繰越分】	-	396,774,358	278,788,000	278,788,000	117,986,358
5(1) 民間診療所等の再建(その他)	医療機関	・東日本大震災津波で全壊した山田町の診療所と老健を複合型施設として整備する事業に着手(H26へ繰越実施)	1,205,000,000	0	0	0	0
5(2) 地域における医療・健康情報共有の基盤整備の具体化	行政機関・医療機関等	・宮古(みやこサーモンケアネット)、釜石(かまいし・おおつち医療情報ネットワーク)の両圏域で医療情報連携ネットワークを運用 【H24→H25繰越分】	11,779,000	23,558,000	23,558,000	11,779,000	0
5(2)ア 岩手県医療情報ネットワークシステム(仮称)の整備	県・学校法人岩手医科大学・医療機関等	・医療情報ネットワーク基盤の構築等するため、「岩手県医療情報連携推進協議会」(仮称)の設立に向けて、関係者で検討・協議を実施	463,043,000	33,130	33,130	33,130	0
5(2)イ いわて医療情報ネットワークシステムの拡充整備(災害時対応機能の整備案)	県	・災害時における医療情報を発信するため、「いわて医療情報ネットワークシステム」を改修	39,000,000	29,947,200	29,947,200	29,947,200	0
5(2)ウ 小児救急医療遠隔支援システムの拡充整備(周産期医療情報ネットワークとの一体化)	県・学校法人岩手医科大学・小児救急関係医療機関	・小児救急医療体制の広域的な支援体制を整備するため、病院間等の診断助言に対応できるネットワークを構築	0	4,994,163	4,994,163	794,163	0
5(2)ウ 小児救急医療遠隔支援システムの拡充整備(周産期医療情報ネットワークとの一体化)	県・学校法人岩手医科大学・小児救急関係医療機関	・小児救急医療体制の広域的な支援体制を整備するため、病院間等の診断助言に対応できるネットワークを構築 【H24→H25繰越分】	46,620,000	45,307,500	45,307,500	45,307,500	0
5(2)エ 地域脳卒中登録システム及び地域がん登録システムの整備	県	・被災地域における医療・保健活動の基礎的データとなる地域脳卒中登録・地域がん登録に係る既存システム及び体制の整備・運営	5,042,000	5,034,280	5,034,280	5,034,280	0
5(3) 県立宮古高等看護学院の教育環境整備	県	・沿岸地域における看護師の養成・定着を図るため、同地域唯一の県立宮古高等看護学院の施設整備を実施(H25:実習施設棟増築及び校舎等施設改修に係る設計業務) ・県立宮古高等看護学院にスクールカウンセラーを配置	17,879,000	18,323,347	18,323,347	18,323,347	0
5(4) 災害拠点病院における非常用設備の充実	災害拠点病院・学校法人岩手医科大学	・災害拠点病院(県立中央、胆沢及び中部病院)への自家発電設備等の整備	750,018,000	719,921,816	719,921,816	719,921,816	0
5(4) 医療関係団体における災害時医療救護体制等の充実強化	医療関係団体	・医療関係団体の災害時本部機能及び業務体制の強化を図るため、県歯科医師会館に非常用発電設備等を整備(県医師会館の整備は、H26に繰越実施)	25,976,000	7,620,000	7,620,000	7,620,000	0
合計			6,031,543,000	2,189,561,700	1,485,249,496	1,469,262,583	173,275,162

(イ)医療の復興計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

○被災3県立病院を含む公的医療機関の再建支援や、民間医療機関の再建支援、耐震補強支援を実施し、被災地における地域医療の確保の取組を推進した。なお、震災復興に係る建設工事の需要が増加しており、作業員の確保が難しい状況や建築資材の納入が遅れるなどの事情から再建が遅れが生じ、予算を繰り越して実施する事業もあること。
○被災地における医療提供体制の強化を図るため、宮古及び釜石圏域において地域医療・健康情報ネットワーク基盤の運用を実施したほか、いわて医療情報ネットワーク、小児救急医療遠隔支援システム、地域脳卒中システム、地域がん登録システムの改修・更新を進め、機能強化を図った。
○沿岸地域での看護師等の確保・定着を図るため、沿岸地域に位置する宮古高等看護学院の実習棟増築、大規模改修に係る設計業務に着手した。
○災害拠点病院となっている県立中央、胆沢及び中部病院の自家発電設備等の整備を行い、災害時医療提供体制の確保を図ったほか、医療関係団体における非常用発電設備等を整備し、災害時の医療救護体制等の強化を図った。

(2)平成24年度交付要綱第4の別表の地域【60億円】

(ア)事業実績報告

(単位:円)

医療の復興計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成25年度実施事業内容	平成25年度 事業予定額 (計画時)	平成25年度実事業費			事業者負担額
				都道府県助成額	再生基金充当額		
当該地域における事業			240,418,000	484,042,089	484,042,089	484,042,089	0
民間医療施設の改修・耐震補強支援	県・医療機関	-耐震整備の支援(1病院)	-	176,720,750	176,720,750	176,720,750	0
被災地における在宅医療提供体制の確保	県・医療機関等	-在宅医療に係る機器整備 -拠点整備、研修事業に係る支援	-	17,996,000	17,996,000	17,996,000	0
被災地における障がい者歯科医療の確保	県・医療機関等	-障がい者(児)歯科医療あり方検討会を開催	-	0	0	0	0
医療従事者の確保支援(看護職員)	県・看護協会等	-看護職員修学資金 新規貸付7人	-	4,080,000	4,080,000	4,080,000	0
		-看護職員の県内就業支援のためのWEBサイト制作	-	6,945,750	6,945,750	6,945,750	0
医療従事者の確保支援	県	-住環境の整備(公舎整備)を実施(県立大船渡病院、釜石病院及び大槌病院)	240,418,000	265,502,000	265,502,000	265,502,000	0
		-シンポジウムの開催 -情報誌の発行	-	12,797,589	12,797,589	12,797,589	0
合計			240,418,000	484,042,089	484,042,089	484,042,089	0

(イ)医療の復興計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

○沿岸被災地における民間1病院の耐震化を支援したほか、在宅医療介護連携拠点事業や在宅医療連携に係る研修等の取組の支援を行い、被災地における地域医療の確保の取組を推進した。
○県立釜石病院及び大船渡病院の職員公舎の整備を行ったほか、看護職員の県内就業支援のためのWEBサイトの制作や看護学生に対する看護職員修学資金の貸付けなど、沿岸被災地の医療従事者の確保・育成に向けた取組みを推進した。

5 添付資料(※被災3県を除く都道府県の項番は4)

- (1)当該年度の歳入歳出決算(見込)書抄本
- (2)目標達成シート(別紙様式3)
- (3)目標達成シート(医療の復興計画)(別紙様式4)【被災3県のみ】
- (4)その他参考となる資料